学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240566011050	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 1 年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館 5 0 6		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 17時 ~ 18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の存在意義ならびに基本原理 (普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄) を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。なお、コロナ禍の影響を考慮し、原則は対面で行う予定であるが、場合によってはリアルタイムオンラインまたはオンデマンドの授業を併用する可能性がある。		
授業到達目標/Course goals	受講生が、憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての自覚をもち、自国の憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え考えるようになること、地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の問題に目をむけられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1 つ以上 3 つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート 4 0 点、定期試験 (憲法の基本原理の理解・国内外の時事問題・自分の言葉で語るができる能力等を観る) 6 0 点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前授業 : 配布したレジュメに書かれている内容を、特にキーワードを中心に調べること (2 h) 事後学習 : レジュメや教科書をもとに授業の内容の理解度を深めること (2 h)		
キーワード/Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Materials	【テキスト】播磨信義・上脇博之・木下智史・脇田吉隆・渡辺洋【編著】『新・どうなっている!? 日本国憲法 憲法と社会を考える 【第3版】法律文化社 なお、毎回レジュメを配布する。また必要に応じて判例や参考文献の情報を発信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> <p>担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考/Remarks	コロナ禍の経験を踏まえ、場合によっては対面授業とリアルタイムオンライン授業を併用する。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握—国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造—立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240582001050	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	【Online】 情報基礎(再履修用(夜間主)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	丹羽 量久: k-niwa nagasaki-u.ac.jp 上繁 義史: yueshige nagasaki-u.ac.jp 鈴木 斉: sigh nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	丹羽 量久: ICT基盤センター2階 上繁 義史: ICT基盤センター2階 鈴木 斉: 経済学部6階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084 (丹羽) 095-819-2254 (上繁) 095-820-6372 (鈴木)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として設定された講義・校時となる水6限の講義終了後にWeb会議システムで提供しますので、事前にメール等で教員と時間調整を行って下さい。 別の時間帯を希望される場合やメールで対応可能なものについては、担当教員宛のメールでご相談願います。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>膨大なデータや人工知能 (AI) の活用による新たな価値の創造が目指される社会において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)は生活のあらゆる場面で求められている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱うスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。</p> <p>授業は、講義と演習を組み合わせる。</p> <p>【授業の実施方法】</p> <p>以下の方法を想定しており、水曜日を授業日とみなして学事カレンダーに合わせて進めていく。変更等があれば、適宜指示する。</p> <p>(1) リアルタイムのオンライン授業 (Webの会議システムを使用した遠隔での授業) 第1回授業</p> <p>(2) オンデマンド授業 (用意された動画や(1)の記録を視聴する授業) 第2回以降の授業</p> <p>講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。</p> <p>主体的学習促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p>		

<p>授業到達目標/Course goals</p>	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱うための、基本的な情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <p>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</p> <p>(2) 情報、情報機器、ネットワークを利用する際の倫理やセキュリティについて基本的な考え方を理解し、ネットワークを適切に利用できるようになる</p> <p>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作・活用する方法を説明できるようになる</p> <p>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集するとともに、それを分析、活用できるようにになる</p> <p>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や適切なネットワーク環境への接続ができるようになる</p>
<p>知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)</p>	<p>汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society</p>
<p>学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking</p>	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Method of evaluation</p>	<p>課題等の提出物及び小テスト70点、定期試験30点として、総合的に評価を行い、100点満点のうち60点以上を合格とする。</p> <p>指示された課題をすべて提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。</p> <p>原則として全回出席を前提とする。ただし、初回を除いて、各回の授業動画すべてを、当該回の授業コンテンツの公開日を含む6日目までに視聴完了した場合に当該授業回に出席したとみなす。</p>
<p>各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson</p>	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>
<p>事前、事後学修の内容/Preparation & Review</p>	<p>授業の事前、事後で以下に沿って学習を行うこと。</p> <p>(1) 文書作成、表計算、プレゼンテーション</p> <p>(事前) 指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること(2時間の学習)。</p> <p>(事後) 授業中に別途指示された課題に取り組むこと(2時間の学習)。</p> <p>(2) 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索</p> <p>(事前) 指示された教科書の内容について熟読すること(2時間の学習)。</p> <p>(事後) 授業中に別途指示された課題に取り組むこと(2時間の学習)。</p>
<p>キーワード/Keywords</p>	<p>情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会</p>
<p>教科書・教材・参考書/Materials</p>	<p>教科書：「情報リテラシーWindows11・Office2021対応」、FOM出版 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界 改訂版」、培風館、2021年</p> <p>教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。</p>
<p>受講要件(履修条件)/Prerequisites</p>	<p>Windows 11及びMicrosoft Office 365 Apps for Enterprise(在学期間中、本学が無償で提供)がインストールされたノートパソコン及びACアダプタを毎回必ず使用すること。</p> <p>再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。</p> <p>長崎大学 必携パソコンサポートサイト https://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/pcsetup/</p>
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考/Remarks</p>	<p>授業の実施方法については、「授業の概要及び位置づけ」の記載を参照すること。</p> <p>LACSのURL https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</p>

学生へのメッセージ/Message for students	<p>本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。 なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 初回授業からノートパソコンを利用するので、事前に確実にセットアップを済ませておくこと。 リアルタイムのオンライン授業の回で接続が不安定な際には、大学情報環境接続説明会の資料にしたがい、相談や問題解決を図ること。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	<p>丹羽量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 /コンピュータやインターネットに関わることに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。 上繁 義史/財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事/コンピュータの構成要素や基本操作などの技術、情報セキュリティや情報倫理などの話題について講義・演習を行う。 鈴木 斉/富士通愛知エンジニアリングでの勤務経験/ソフトウェア開発系企業での勤務経験を有する教員が関連する業界の現状等について実態を交えて解説する。</p>
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	<p>【ガイダンス】(オンライン実施(リアルタイム)) 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、必携パソコンの初期設定及びMicrosoft Office365他アプリケーションソフトウェアのセットアップ状況の確認、大学情報環境接続説明会での説明事項の確認。 注意 この初回授業のみ、Web会議システムによるリアルタイム授業を行う。10月2日(水) 6校時(17:50~19:20)を予定しているが、変更等があればLACSの連絡事項にて通知する。あらかじめ、LACSの左メニューのオンライン教室に進み、入室時の注意事項について確認・対応し、授業開始時刻までに入室すること。</p>
第2回	<p>【PCとLACSの活用】(オンデマンド実施) LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習</p>
第3回	<p>【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】(オンデマンド実施) (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、日常のセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など</p>
第4回	<p>【文書作成】(オンデマンド実施) Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、ページ設定、オブジェクトの操作、表の作成、印刷方法、スタイルの設定</p>
第5回	<p>【プレゼンテーション】(オンデマンド実施) Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成等</p>
第6回	<p>【情報のデジタル化】(オンデマンド実施) デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化</p>
第7回	<p>【表計算(1/5)】(オンデマンド実施) Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照</p>
第8回	<p>【表計算(2/5)】(オンデマンド実施) 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成</p>
第9回	<p>【表計算(3/5)】(オンデマンド実施) さまざまな関数の活用</p>
第10回	<p>【コンピュータの基礎】(オンデマンド実施) コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎</p>
第11回	<p>【表計算(4/5)】(オンデマンド実施) 複数シートの操作、データベースの操作</p>
第12回	<p>【表計算(5/5)】(オンデマンド実施) 高度なグラフの作成、ピボットテーブルの作成</p>
第13回	<p>【ネットワークの基礎】(オンデマンド実施) ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド</p>
第14回	<p>【ネットワーク利用と情報の検索】(オンデマンド実施) WWW、情報の検索、著作権</p>

第15回	【総合演習】(オンデマンド実施) 授業の振り返り
第16回	【定期試験】(オンライン(リアルタイム)実施)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586014150	科目番号 / Course code	05860141
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12121_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心な社会への取組 (リスク社会と社会科学) / Risk Society and Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 片淵キャンパス東南アジア研究所206号		
担当教員TEL/Tel	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日18:00~19:30(研究室に来室の際は事前にメール等で連絡をください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会科学の側面から社会システムの機能や役割を把握することで、リスクに向き合うための課題や指針を理解する。		
授業到達目標/Course goals	社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識を得ることができる。具体的には需要、供給、市場といった経済学の基本的概念を理解するとともに、企業の様々な戦略や役割についてこれら経済学の概念を用いて理解できるようになる。また、政府による企業に対する規制や法の根拠や在り方について、自らの見識を持てるようになることを目的とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験60%、課題レポート40%。合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 提示された授業資料に目を通しておくこと(1h) 復習: 授業資料を再読し、内容をまとめること。また参考資料や練習問題を解くこと。(3h)		
キーワード/Keywords	需要、供給、市場、独占、複占・寡占、企業戦略		
教科書・教材・参考書/Materials	授業に必要な資料は別途配布する。なお特定の教科書は用いないが、必要に応じて下記の参考文献を適宜利用する。 1. 小田切宏之(2019)「産業組織論」有斐閣 2. デビット・ベサンコ、デビッド・ドラノブ、マーク・シャンリー(2002)「戦略の経済学」ダイヤモンド社 3. 丸山雅祥(2017)「経営の経済学(第3版)」有斐閣		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。ただし状況によっては変更する場合があります。その際はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビなどで報道される企業に関する記事やニュースを、日々チェックするように心掛けるようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	当該授業では担当教員の実務経験をもとに、事業規制などの様々な政府政策についても解説を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	需要その1
第3回	需要その2
第4回	供給その1
第5回	供給その2
第6回	完全競争市場と社会厚生
第7回	市場構造・市場行動・市場成果
第8回	独占その1
第9回	独占その2
第10回	複占・寡占その1
第11回	複占・寡占その2
第12回	企業数の決定と参入障壁その1
第13回	企業数の決定と参入障壁その2
第14回	企業の競争戦略その1
第15回	企業の競争戦略その2
第16回	総括（定期試験を含む）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590000150	科目番号 / Course code	05900001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】 データサイエンス概論(再履修) / Introduction to Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姜 佳明, 植木 優夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姜 佳明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姜 佳明		
科目分類 / Course Category	情報・データサイエンス科目, 数理・データサイエンス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	Students admitted in 2021 or later who have not yet completed Introduction to Data		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jiaming[at]nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-819-2708		
担当教員オフィスアワー/Office hours	weekdays		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	With the accelerating globalization of society and changes in the industrial structure, it has become necessary to cultivate human resources who can solve various social problems, discover new issues, and create new values from data in university education, regardless of their majors. In this course, students will learn the basics of data science for analyzing data in various fields.		
授業到達目標/Course goals	With the accelerating globalization of society and changes in the industrial structure, it has become necessary to cultivate human resources who can solve various social problems, discover new issues, and create new values from data in university education, regardless of their majors. In this course, students will learn the basics of data science for analyzing data in various fields.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Adequate review is assumed. (2 hours)		
キーワード/Keywords	Data Science		
教科書・教材・参考書/Materials	Materials will be available on LACS each time. Text book: "How to Walk in Data Science" (Shiga University Faculty of Data Science & Nagasaki University School of Information and Data Sciences), Gakujutsu Tosho Shuppan-sha		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate.</p> <p>If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.</p> <p>Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考/Remarks</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>If you have any questions, please feel free to ask.</p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience</p>	<p>N</p>
<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>1</p>	<p>An overview of data science: the role of data science, applications and utilization techniques of data science, data science in society</p>
<p>2</p>	<p>Basics of data analysis: how to acquire and manage data, histograms, box plots, means and variances</p>
<p>3</p>	<p>Basics of data analysis: scatter plots, correlation coefficients, regression lines, and points to note in data analysis</p>
<p>4</p>	<p>Data science methods: cross tabulation, regression analysis, Bayesian inference, association analysis</p>
<p>5</p>	<p>Data science methods and computer-based analysis: clustering, decision trees, neural networks, machine learning and artificial intelligence, data analysis using Excel</p>
<p>6</p>	<p>Computer-aided analysis: data analysis using R and Python</p>
<p>7</p>	<p>Applications of data science: marketing, finance, quality control, image processing,</p>
<p>8</p>	<p>Reflections on the class</p>

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590000150	科目番号 / Course code	05900001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】 データサイエンス概論(再履修) / Introduction to Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姜 佳明, 植木 優夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姜 佳明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姜 佳明		
科目分類 / Course Category	情報・データサイエンス科目, 数理・データサイエンス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	令和3年度以降入学者で、データサイエンス概論を未修得の者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jiaming nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス 工学部1号館 408室		
担当教員TEL/Tel	0985-819-2708		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜-金曜 5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、文系・理系を問わず、大学教育において、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見及びデータから新しい価値を創造できる人材の養成が必要となっています。この授業では、様々な分野のデータを分析するためのデータサイエンスの基礎を学習します。		
授業到達目標/Course goals	なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのか、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、判断できることが必要であるため、データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習し、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	全小テストの合計(100点満点)が60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	十分な予習復習を前提とします。(各2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	毎回教材がLACSで公開されます。 教科書：『データサイエンスの歩き方』 学術図書出版社 滋賀大学データサイエンス学部・長崎大学情報データ科学部 共編		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業はオンライン（オンデマンド形式）で実施します。授業の詳細はLACSで確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	わからない箇所は遠慮なく質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	データサイエンスの概要を紹介します。データサイエンスの役割、データサイエンスの応用と活用技術、社会におけるデータサイエンス
2	データ分析の基礎について学習します。データの取得方法と管理方法、ヒストグラム、箱ひげ図、平均値と分散
3	データ分析の基礎について学習します。散布図、相関係数、回帰直線、データ分析での注意点
4	データサイエンスの手法について学習します。クロス集計、回帰分析、バイズ推論、アソシエーション分析
5	データサイエンスの手法、コンピュータを用いた分析について学習します。クラスタリング、決定木、ニューラルネットワーク、機械学習と人工知能、Excel を使ったデータ分析
6	コンピュータを用いた分析について学習します。RやPython を使ったデータ分析
7	データサイエンスの応用事例について学習します。マーケティング、金融、品質管理、画像処理、医学
8	総括

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590001050	科目番号 / Course code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Course title	【Online】 英語コミュニケーション (再履修) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	本館 6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 18:00 - 19:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語コミュニケーションでよく使われる表現を通じて、リスニング、ディクテーション、スピーキング、発音、また、語彙やイディオムを総合的に学ぶ。 英語音声の発音上の特徴を理解し、実際に聞く、書く、声にすることを通じて、それを会得する。		
授業到達目標/Course goals	リスニングやスピーキング、語彙・イディオム、文法の力を伸ばす。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回、授業の終わりには、ふりかえりを提出してもらう。これらが全体で25点に相当する。 また、毎回、前回のユニットの表現テストを行う。30点である。 音声の提出が35点。授業への参加、貢献度が10点である。 (オンライン授業の場合、授業ノート提出45点、音声提出35点、その他課題等20点) 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：毎回前回のUnitの表現テストがあるので準備してくること (2時間/回) 事後学習：授業での音声を何度も聞いて、音になれるとともに、複数回の音読練習をしてください。 最後に音読を録音したものをLACSで提出してください (2時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教材は配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本科目はオンライン（オンデマンド）で実施する。ただし、初回および必要に応じて、数回、対面で授業を行う。初回時に詳しく説明しますので、初回時は指定された教室に集まってください。
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 また、進捗状況に応じて、Quizの日時等は変更になるので留意されたい。 スマホを授業目的以外で使用していた場合、減点となる。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(対面) Introduction 授業概要説明
第2回	I hope... 英語の音声：概要
第3回	look like 変化する音
第4回	as ... as つながる音
第5回	kind of 消える音
第6回	How do you like ...?
第7回	never ... until~ b, vの音
第8回	It takes ... to ~ s, shの音
第9回	Shouldn't have + 過去分詞 thの音
第10回	I wonder ... (I was wondering if...)
第11回	Why don't you...? (Why don't we...? Let's... Shall we...?)
第12回	as soon as ...
第13回	give a person a call (give a person a... の表現)
第14回	It said/says that ...
第15回	Catch-up & Review

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590003050	科目番号 / Course code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (再履修) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel	連絡はメール、またはLacsのメッセージをお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了時、またはメール、Lacsのメッセージで対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TOEIC形式の問題を使って、英語によるコミュニケーションの基礎となる英単語や英文法の知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	現実社会で必要となる英語によるコミュニケーション能力を身につけるために、文法事項を修得し、問題演習の中で使用されている表現を使うことができるようになる。音声による情報をより正確に把握できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験30%、中間テスト20% 授業への積極的な参加状況(小テスト、課題等を含む)50% 以上により、総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	[予習] 授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h/回) [復習] 授業内容を復習して理解を深め、課題に取り組む。(2h/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	角山照彦、他(著) A Communicative Approach to the TOEIC L&R Test Book 2: Intermediate (成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	出席回数が3分の2に達しない場合は期末試験受験を認めない。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業の実施形態、予習箇所、課題についてはLacsでお知らせします。授業前後は、必ずLacsを確認して下さい。授業実施形態は、オンライン7回、対面8回です。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1 Restaurants 語彙問題・接頭辞(オンライン)
第2回	Unit 2 Offices 動詞(1)・eメール文書(対面)
第3回	Unit 3 Daily Life 品詞・チャット書式(1)(オンライン)
第4回	Unit 4 Personnel 接尾辞(1)・文挿入問題(オンライン)
第5回	Unit 5 Shopping 接尾辞(2)・動詞(2)(対面)
第6回	Unit 6 Finances 語彙問題・手紙の書式(オンライン)
第7回	Unit 7 Transportation 代名詞(1)・告知書式(対面)
第8回	中間テスト(対面)
第9回	Unit 8 Technology 前置詞・記入用紙書式(対面)
第10回	Unit 9 Health 接続詞・群前置詞(オンライン)
第11回	Unit 10 Travel ダブルパッセージ問題(対面)
第12回	Unit 11 Business 句動詞・チャット書式(2)(オンライン)
第13回	Unit 12 Entertainment 慣用句・つなぎ言葉(1)(対面)
第14回	Unit 13 Education 代名詞(2)・つなぎ言葉(2)(オンライン)
第15回	Unit 14 Housing トリプルパッセージ問題(対面)
第16回	授業の総括(定期試験)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005050	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (再履修) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	knaomi.bluerose@gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) 海外旅行をする際の英語コミュニケーション能力の向上。 (2) 語彙、リスニング、スピーキング等のエクササイズによって総合的なコミュニケーション能力の向上をはかる。		
授業到達目標/Course goals	海外旅行で遭遇するような場面でのリスニング活動及びリーディング活動を行うことによってコミュニケーションをとれるような英語力を養い、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト、授業参加度、授業への取り組み70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業前のテキストの予習 (1時間 / 回)、次回小テストのための復習 (30分 / 回)		
キーワード/Keywords	海外旅行で遭遇する場面に必要な英語表現		
教科書・教材・参考書/Materials	Enjoy Your Trip! English you need abroad (Nan'un-do) 生協で一括予約しますので、各自入手してください。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	毎回、予習・復習の上で授業に臨むこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	原則として「対面授業」。但し、状況次第でオンライン授業に変更の可能性あり。 授業の進捗状況により、内容の変更の可能性あり。		

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/11)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 1 (対面)
第2回 (4/18)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 1 (対面)
第3回 (4/25)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 2 (対面)
第4回 (5/9)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 3 (対面)
第5回 (5/16)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 4 (対面)
第6回 (5/23)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 5 (対面)
第7回 (5/30)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 6 (対面)
第8回 (6/6)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 7 (対面)
第9回 (6/13)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 8 (対面)
第10回 (6/20)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 9 (対面)
第11回 (6/27)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 10 (対面)
第12回 (7/4)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 11 (対面)
第13回 (7/11)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 12 (対面)
第14回 (7/18)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 13 (対面)
第15回 (7/25)	Enjoy your Trip! English you need abroad: Unit 14 (対面)
第16回 (8/1)	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009050	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (再履修) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel	連絡は、メールまたはLacsのメッセージをお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了時、またはメール、Lacsのメッセージで対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスに関連した英文を読み、聴解力、語彙力の向上を目指すと共に文法事項の復習を行う。		
授業到達目標/Course goals	現実社会で必要となる英語によるコミュニケーション能力を身につけるために、文法事項を修得し、英文の内容が正確に読み取ることができるようになる。英文で使用されている語彙や表現の意味を把握し、自らも使用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験30%、小テスト20% 授業への積極的な参加状況 (課題等を含む) 50% 以上により、総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[予習] 授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h) [復習] 授業内容を復習して理解を深め、課題に取り組む。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	中谷安男・Ryan Smithers (著) グローバルリーダーに学ぶビジネス戦略 (成美堂)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	出席回数が3分の2に達しない場合は期末試験受験を認めない。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業の実施形態、予習箇所、課題については、全てLacsでお知らせします。授業前後は、必ずLacsを確認して下さい。授業実施形態は、対面8回、オンライン7回です。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(オンライン)
第2回	Chapter 1 Marketing Mix in Emerging Countries (Business Case Shiseido Thailand / (株)資生堂) (対面)
第3回	Chapter 2 Confectionery Marketing in Overseas Business (Business Case Morinaga America, Inc. / 森永製菓(株) (オンライン)
第4回	Chapter 3 Exploring Global Business and Enhancing People's Sustainable Value (Business Case MUJI: Ryohin Keikaku / (株)良品計画) (対面)
第5回	Chapter 4 Globalization or Localization (Business Case Kao USA Inc. / 花王(株)) 小テスト(1) (対面)
第6回	Chapter 5 Using a New Guerrilla Marketing Strategy as a Challenger (Business Case Coca-Cola in Laos / コカ・コーラ・カンパニー) (オンライン)
第7回	Chapter 6 Countering Innovators' Dilemma (Business Case Toshiba Vietnam / (株)東芝) (対面)
第8回	Chapter 7 Enhancing Internal Communication of a Global Company (Business Case Honda Motor / 本田技研工業(株) 小テスト(2) (対面)
第9回	Chapter 8 Focus Strategy and Cost Leadership Strategy in Frozen Food Industry (Business Case Hatchando Vietnam / (株)ハちゃん堂) (オンライン)
第10回	Chapter 9 Most Luxurious and Practical Accommodations (Business Case Imperial Hotel / (株)帝国ホテル) (オンライン)
第11回	Chapter 10 Creating a Japanese Luxury Brand (Business Case Toyota Lexus / トヨタ自動車 レクサスブランドマネジメント部) 小テスト(3) (対面)
第12回	Chapter 11 The Species That Survives is the One That is the Most Adaptable to Change (Business Case Tashiro Alloy Inc. / (株)田代合金所) (対面)
第13回	Chapter 12 BOP Business Enhancing Sustainable Development Goals (Business Case Yamaha Motor's business in indonesia and Africa / ヤマハ発動機(株) (オンライン)
第14回	Chapter 13 Connecting People with What 's Happening (Business Case Twitter Japan / Twitter Japan (株)) 小テスト(4) (対面)
第15回	Chapter 14 Uniting the World for a Better Tomorrow (Business Case IC Net Limited / アイ・シー・ネット(株) (オンライン)
第16回	授業の総括(定期試験)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590011050	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	【Online】 総合英語 (再履修) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木 17:00 - 18:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語科目の目標は、一般的な社会生活をおくる上で必要な英語コミュニケーション能力の基盤となるリスニング力とリーディング力を培うための学修を行う。そのために、英語力の4技能を総合的に向上させることを目指すが、特にディクテーションを通じた、リスニングと発音の練習を中心とし、基礎的な表現力を修得する。ディクテーションや発音練習の中でさまざまな表現も合わせて学び、表現力の向上を図る。		
授業到達目標/Course goals	英語音声の基本的特徴を体系的に理解できるようになるとともに、それらを聞き取れ、発音できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回、授業後には、ふりかえりを行う。これらは全体で25点に相当する。 また、毎回、前回のUnitの表現テスト行う。35点である。 音読課題を毎回課す。30点 参加・貢献が10点 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。 オンライン授業(オンデマンド授業)とする場合、評価方法は異なる(初回に説明します)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習としては、前回のunitの表現テストがあるので、その準備をしておくこと(2時間/回)。 事後学習としては、学習したUnitの音声を繰り返し聞き、音になれるとともに複数回音読の練習をしてください。最後に、録音し、ファイルにてLACSから提出してください(2時間/回)。		
キーワード/Keywords	リスニング ディクテーション 音読 破裂音 摩擦音 連結 脱落 弱勢 機能語と内容語 基本英文法		
教科書・教材・参考書/Materials	配布します		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本科目はオンライン(オンデマンド)で実施する。ただし、初回および必要に応じて、数回、対面で授業を行う。初回時に詳しく説明しますので、初回時は指定された教室に集まってください。
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 内容は理解度に応じて、変更する場合がある。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(対面) Introduction 授業概要説明
第2回	連結1 t連結 Let it be (let it)
第3回	連結2 子音+母音 Top of the world (such a feelin')
第4回	脱落1 破裂音(p, b t, d k, g) + 同じ破裂音/似た破裂音 Honesty (hard to find)
第5回	脱落2 語尾の破裂音(p, b t, d k, g) Rainbow (and)
第6回	音の変化1 [d]+[j] My heart will go on (loved you)
第7回	脱落3 -ing A whole new world (shining)
第8回	ここまでのまとめ Love so sweet
第9回	脱落4 語尾の[l] Let it snow (frightful)
第10回	音の変化2 [v]+[j] Last Christmas (gave you)
第11回	脱落5 [t/d]+摩擦音[th] Let it go (let them)
第12回	音の変化3 [t]+[l] You don't listen to rock and rolls
第13回	3語の連結 Beauty and the beast (as old as)
第14回	脱落6 [nt] + [o] Count on me (count on)
第15回	Catch-up & Review

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590013050	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (再履修) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	knaomi.bluerose@gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) ポップスの楽曲を用いた教材を使用し、英語の歌詞を聞き、読みながら英語を学習する。 (2) リスニング及びリーディングの練習を行い、さらに文法事項を学習する。		
授業到達目標/Course goals	楽曲を聞いて歌詞を聞き取れるようになる。語彙、文法事項を学び楽曲の内容を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト、授業への取り組み70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業前のテキストの予習 (1時間/回)、次回小テストのための復習 (30分/回)		
キーワード/Keywords	英語の曲を理解し鑑賞する。		
教科書・教材・参考書/Materials	Let's Learn English with Pop Hits! (SEIBIDO) 生協で一括予約しませんので、各自入手してください。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	毎回、必ず予習、復習の上で授業に臨むこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	原則として「対面授業」。但し、状況次第でオンライン授業に変更の可能性あり。 授業の進度状況により、内容の変更の可能性あり。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/11)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 (対面)
第2回 (4/18)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 1 (対面)
第3回 (4/25)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 2 (対面)
第4回 (5/9)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 3 (対面)
第5回 (5/16)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 4 (対面)
第6回 (5/23)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 5 (対面)
第7回 (5/30)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 6 (対面)
第8回 (6/6)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 7 (対面)
第9回 (6/13)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 8 (対面)
第10回 (6/20)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 9 (対面)
第11回 (6/27)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 10 (対面)
第12回 (7/4)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 11 (対面)
第13回 (7/11)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 12 (対面)
第14回 (7/18)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 13 (対面)
第15回 (7/25)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 14 (対面)
第16回 (8/1)	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240591000150	科目番号 / Course code	05910001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】 プラネタリーヘルス入門((再履修(夜間主)) / Introduction to Planetary Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 中山 智喜 / Tomoki Nakayama, 持田 恵 一 / mochida keiichi, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 永安 武 / Takeshi Nagayasu, 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 鈴 木 誠二 / Suzuki Seiji, 深見 聡 / Fukami Satoshi, 佐藤 美穂 / Sato Miho, 前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 石橋 知也 / Tomoya Ishibashi, 向井 英史 / Mukai Hidefumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 中山 智喜 / Tomoki Nakayama, 持田 恵 一 / mochida keiichi, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 永安 武 / Takeshi Nagayasu, 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 鈴 木 誠二 / Suzuki Seiji, 深見 聡 / Fukami Satoshi, 佐藤 美穂 / Sato Miho, 前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 石橋 知也 / Tomoya Ishibashi, 向井 英史 / Mukai Hidefumi		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス入門科目, プラネタリーヘルス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	planetary_health_ml.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	問い合わせ等がある場合は, 上記Eメールアドレスに連絡してください。		
担当教員TEL/Tel	問い合わせ等がある場合は, 上記Eメールアドレスに連絡してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	オムニバス形式、オンデマンド型の講義であるため、上記Eメールアドレスに連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本学は、総合大学として各分野の高い専門性を生かし「プラネタリーヘルス」に貢献することをス ローガンに掲げている。異なる分野で活躍する複数の講師が、それぞれの視点で地球規模の課題へ の取り組み、その重要性について講義し、環境変化と地球の健康との間にある重要なつながりを理 解させ、プラネタリーヘルスに向き合う姿勢「プラネタリーヘルスマインド」を涵養する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、考え、主張し、行動することができる ・分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている ・専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている ・地球環境と社会の多様性を理解している ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	第2回目から8回目まで毎回課される課題の総合点で判断します。 (10点×10課題=100点満点のうち60点以上が合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】講義のキーワード及びテキストの該当箇所を提示するので、キーワードに関する内容を各 自、テキスト、Web等で調べておくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPや テキストで理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	「各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)」欄を参照すること。		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書：プラネタリーヘルス ～私たちと地球の未来のために～（丸善出版）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	この授業は、オンデマンド型のオンライン授業です。
学生へのメッセージ/Message for students	「プラネタリーヘルス」というキーワードをもとにみなさんが持つ知を集積、統合して、新しい世界を次々と生み出す契機となることを願っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	深見聡/NPO法人での実務経験 泉川公一/長崎大学病院における診療業務 村田比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務 佐藤美穂/NPO法人での実務経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	タイトル：プラネタリーヘルス（地球の健康）と長崎大学 講師：永安 武 学長 / Takeshi Nagayasu (President) 講義キーワード：長崎大学ホームページ https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/guide/planetaryhealth/index.html https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/pickup/ph_9.html
第2回	【環境科学部 / Faculty of Environmental Science】 タイトル：プラネタリーヘルスと環境科学 / Planetary Health and Environmental Science 講師：深見 聡 准教授 / Satoshi Fukami、中山 智喜 准教授 / Tomoki Nakayama 講演のキーワード：気候変動、大気汚染、持続可能な開発（SD）、SDGs、持続可能な観光 テキストの該当箇所：（中山）4、7、12章（深見）16章
第3回	【水産学部 / Faculty of Fisheries】 タイトル：変わりゆく海の健康と食料 / Changing marine environment and foods 講師：阪倉 良孝 教授 / Yoshitaka Sakakura 講演のキーワード：気候変動、水質汚染、生物学的変化、食料生産 テキストの該当箇所：4、5章 【情報データ科学部 / School of Information and Data Sciences】 タイトル：プラネタリーバウンダリーと食 / Sustainably Feeding the Future Within Planetary Boundaries 講師：持田 恵一 教授 / Keiichi Mochida 講演のキーワード：生物多様性、フードテック、分子育種、バイオエコノミー、精密農業 テキストの該当箇所：5章
第4回	【医学部 / School of Medicine】 タイトル：感染症の脅威～人類と微生物の闘い～ / The Threat of Infectious Diseases, The Struggle Between Humans and Microbes 講師：泉川 公一 教授 / Koichi Izumikawa 講演のキーワード：微生物、新型コロナウイルス感染症、予防と治療 テキストの該当箇所：6章
第5回	【教育学部 / Faculty of Education】 タイトル：私たちが取り巻く環境と心の健康 / The impacts of ambient environmental conditions on our mental health 講師：前原 由喜夫 准教授 / Yukio Maehara 講演のキーワード：レジリエンス、温暖化、都市化、適応、メンタルヘルス テキストの該当箇所：9章 【歯学部 / School of Dentistry】 タイトル：気候変動と健康、口腔の健康 / Climate Change and Human Health, Oral Health 講師：村田 比呂司 教授 / Hiroshi Murata 講演のキーワード：気候変動、健康、気温変化、大気汚染、歯学 テキストの該当箇所：10章

第6回	<p>【多文化社会学部 / School of Global Humanities and Social Sciences】 タイトル：プラネタリーヘルス：幸福というキーワードから考える / Thinking Planetary Health through "Happiness" as a keyword 講師：佐藤 美穂 准教授 / Miho Sato 講演のキーワード：幸福、ウェルビーイング、ウェルビーイングの尺度 テキストの該当箇所：11章</p>
第7回	<p>【工学部 / School of Engineering】 タイトル：都市空間と自然環境 / Natural environment at urban city 講師：鈴木 誠二 准教授 / Seizi Suzuki 講演のキーワード：環境ハザード、自然生態系、気候変動 テキストの該当箇所：13章</p> <p>タイトル：健康的かつ環境的に持続可能な都市 / Sustainable Cities - Focusing on Health and Environment 講師：石橋 知也 准教授 / Tomoya Ishibashi 講演のキーワード：グリーンアーバニズム、交通システム、地産地消、公平性 テキストの該当箇所：13章</p>
第8回	<p>【薬学部 / School of Pharmaceutical Sciences】 タイトル：環境汚染物質から見たプラネタリーヘルス / Planetary health considered from the perspective of environmental pollutants 講師：鳥羽 陽 教授 / Akira Toriba 講演のキーワード：化学物質汚染、健康影響、生態影響、化学物質曝露、毒性、グリーンケミストリー テキストの該当箇所：14章</p> <p>【経済学部 / Faculty of Economics】 タイトル：プラネタリーヘルスと経済学・経営学 / Economics and Business Administration for Planetary Health 講師：津留崎 和義 准教授 / Kazuyoshi Tsurusaki 講演のキーワード：GDP、ウェルビーイング、地域の持続可能性、エシカル消費 テキストの該当箇所：15章</p>

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6, 月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20240593003950	科目番号 / Course code	05930039
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会の追求 (安心安全の追求と経済学) / Economic Perspective of Safety and Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大角 道子 / Ogaku Michiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgaku@の後に教員共通のアドレスをつけてください。		
担当教員研究室/Office	経済学部本館大角研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	安全と安心について、特にゲーム理論と不完備契約の経済学の側面から学習する。		
授業到達目標/Course goals	基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識を駆使した思考方法・技術を身につけることができるようになる。自分の考えについて、分かりやすく伝え、討論することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	グループ討議への参加姿勢(20%), 定期試験(80%)で評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	講義後にグループ討議の結果をまとめたり復習すること(時間の目安は概ね2時間程度)。		
キーワード / Keywords	ゲーム理論, 不完備契約		
教科書・教材・参考書 / Materials	特段指定しない。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	長大Wifiに接続できるPC必携。 高校までの数学とミクロ経済学の基礎知識があることが望ましい。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 / Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更がある場合は、LACSでお知らせします。		

学生へのメッセージ/Message for students	社会現象の背後にある人々の行動選択を考察するための経済的な手法について学習していきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (対面) (復習: 高校までの数学のテキストを読む。時間は概ね2h程度, 予習: ミクロ経済学のテキストを読む。時間は概ね2h程度)
第2回	ゲーム理論の行い方 (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。概ね2h 程度)
第3回	合理性に基づく予測 (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第4回	競争と協力(1) (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第5回	混合戦略と純粋戦略 (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第6回	競争と協力(2) (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第7回	一般の囚人ジレンマゲーム (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第8回	協力ゲームアプローチ (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。概ね2h 程度)
第9回	コースの定理 (1) (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第10回	コースの定理 (2) (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第11回	時間を通じて行われるゲーム (1) (対面) (復習: 講義ノートを理解する。概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。概ね2h程度)
第12回	時間を通じて行われるゲーム (2) (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。概ね2h 程度)
第13回	時間を通じて行われるゲーム (3) (対面) (復習: 講義ノートを理解する。概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。概ね2h程度)

第14回	ホールドアップ問題（対面） (復習: グループ討議の結果をまとめる。概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。概ね2h 程度)
第15回	講義のまとめ（対面） (復習: 講義ノートを理解する。概ね2h 程度)
第16回	講義のまとめ（対面） (復習: 講義ノートを理解する。概ね2h 程度)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6, 月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20240593004150	科目番号 / Course code	05930041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 (安心安全と経済学) / Security and Safety in Economics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	moriyasu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所3階313番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日17時40分より18時まで。その他の時間帯における質問についてはメールにて相談すること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、様々な金融資産の特徴を理解したうえで、金融リスクをコントロールすることの重要性とその手法について学習する。		
授業到達目標/Course goals	DP1．学生が自ら学び、考え、主張し、行動することができる。 DP2．学生が分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。 DP3．学生が主体性をもって他者と協働できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加・貢献度(40%)、期末試験(60%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 配付資料の該当範囲について事前に読んでおくこと (2時間) (復習) 講義内容および講義資料を基に復習すること (2時間)		
キーワード/Keywords	金融市場、ポートフォリオ理論		
教科書・教材・参考書/Materials	東京証券取引所・日本証券業協会『大学生のための証券市場と株式会社の基礎知識』 その他、適宜授業中に資料を配付する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学のお助けとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	授業は対面形式で行います。		

学生へのメッセージ/Message for students	「大学生のための株式学習ゲーム」に参加するため、講義には必携パソコンを持参下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N：実務経験なし
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	評価の基本原則
第3回	企業分析
第4回	株式市場
第5回	株式分析
第6回	債券市場
第7回	債券分析
第8回	ポートフォリオ理論と資本市場理論(1)
第9回	ポートフォリオ理論と資本市場理論(2)
第10回	デリバティブ市場
第11回	デリバティブ価格と投資戦略
第12回	グローバル投資と各国の証券市場
第13回	行動ファイナンス
第14回	オルタナティブ投資
第15回	授業の総括
第16回	期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20240598000950	科目番号 / Course code	05980009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	現代の経営 / The Practice of Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 麗桂 / LIN Ligu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 麗桂 / LIN Ligu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 麗桂 / LIN Ligu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	linty1210 nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	本館531		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Emailにて随時ご相談		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義は、経営書の古典を読みながら、マネジメント理論の背景および基本的理論枠組みについて学ぶことを目的にする。		
授業到達目標/Course goals	企業の構造や行動、経営管理の諸側面、経営の歴史に関する知識を修得している。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義への参与度 : 50% 最終レポートまたは最終テスト : 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 : 配布されるレジュメ、教材などの講義資料に目を通し、資料に提示した事例およびわからない用語について参考書やインターネットなどを活用して調べておくことが求められる (2h)。 復習 : 講義で学んだ理論や事例について自ら整理したりまとめることによって理解を固めることが求められる (2h)。		
キーワード/Keywords	マネジメント、事業、事業目標、組織構造、組織文化		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書なし。担当教員が教材を配布する。 参考書 : P.F. ドラッカー (著) 上田惇生 (訳) (2006) 『現代の経営』 「上」ダイヤモンド社		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	対面での実施		

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：講義内容、実施方法および成績評価方法の説明
第2回	著者の紹介、マネジメントの概念と役割
第3回	マネジメントの領域
第4回	事業とは
第5回	事業における重要なこと
第6回	事業の目標設定と管理 1 / 2
第7回	事業の目標設定と管理 2 / 2
第8回	生産の原理
第9回	自己管理における目標管理
第10回	経営管理者は何をすべきか
第11回	組織の文化
第12回	CEOと取締役会
第13回	経営管理者の育成
第14回	マネジメントの組織構造
第15回	最終課題の提出または最終テストの実施